



●2面2線の相対式ホームを有し、青い屋根瓦が印象的な駅舎の地上駅。



●駅の東側と西側を連絡する歩道橋。 ●駅前のロータリーでは冬季にイルミネーションが点灯する。

生まれ変わるうとする常陸大宮駅
 駅周辺では楽しいイベント盛りだくさん

大正7年10月、水戸駅から瓜連駅まで伸びていた水戸鉄道(現JR水郡線)がさらに延伸し、常陸大宮駅が開設された。今年には開業100周年の節目を迎えている。

青い屋根がトレードマークの木造駅舎は歴史を感じさせ、駅前にはロータリーが整備されている。駅周辺は商店街や医療福祉施設、市役所、ロゼホールなどがあり、常陸大宮市の中心拠点である。常陸大宮市は昨年3月、「常陸大宮駅周辺整備基本計画」を策定し、駅東、西の駅前広場と都市計画道路の整備、さらには駅舎の改築などの整備を行うことで、中心市街地の活性化につなげていく考えだ。

秋は常陸大宮市が活気づく季節。9月30日にはロゼホール前広場で「常陸大宮グルメフェア」が、11月3日には西部総合公園グラウンドで「ふるさと祭りおおみやふれあい広場」が開催されるなど、さまざまなイベントが予定されている。

Vol.78

駅からのふるさと紀行 JR水郡線
 ひたち おおみや

常陸大宮駅

しず 静 | たまがわむら 玉川村

●次回は10月28日 ※イラストはイメージです。
 「羽黒駅」を掲載予定です。

常陸大宮グルメフェア
 今年で第8回目となるグルメフェア。地元食材を使った自慢のグルメが提供される。

▶開催日/9月30日(日) AM10時～
 ▶会場/ロゼホール南側広場

いきいき茨城ゆめ国体2019
 を応援しております。

働く人と、世界を走る。

ISUZU

茨城いすゞ自動車株式会社

本社 / 〒310-0063 水戸市五軒町1-2-5 ☎029-225-1215(代)
<http://www.ibaraki-isuzu.co.jp>

●現存する日本最古の「組立式農村歌舞伎舞台」。県の有形民俗文化財で3年に一度組立られ、次回は31年10月の予定。

●周囲を緑に囲まれた広い園内には体育館をはじめ、グラウンド・テニスコート・人工芝グラウンドなどがある。

●文化の日恒例の祭りで、毎年4万人の来場がある人気のピックアップイベント。

●春には約250本のソメイヨシノが満開になる。園内には展望台があり、大宮の市街地を望むことができる。

※寺社へのお参りの際はマナーを守り大声で騒いだり、ゴミを残さないよう注意してください。

● 散策コース ●

まずは駅の北東にある甲(かぶと)神社へ。大同2(807)年の創建と伝えられる佐竹氏ゆかりの神社で、神社の尊称「甲大宮」が地名の由来となった。佐竹義昭奉加帳や6面の能面など文化財も多い(10月20、21日に公開予定)。境内には関東の三大裸祭りとして知られる大宮の祇園祭(毎年7月下旬に開催)で有名な素鷲(そが)神社も鎮座する。神社に隣接して臨濟宗のお寺・松吟寺があり、元禄5(1692)年に建てられた山門は市の文化財となっている。

●お問い合わせ / 常陸大宮市産業観光部商工観光課 ☎0295(52)1111(代) ●企画・制作 / 読売茨城広告社 ☎029(244)5555